

彗星だより

1927a 彗星 この彗星発見者のブラサ
 ヲイト (Blathwayt) 氏は昨年 1 月 16 日
 に新しい彗星を発見した人で、南半球で
 はこの節は夏の盛りだから、暑い折に折
 角彗星探しに勉強して後は涼しい顔をし
 てゐるのも甚だ工合がいいことである。
 大略の位置は(本會アレチン 102 號参照)
 日附(萬國時) 赤緯 赤經 光級

年	月	日	h	m	s
1927	4	19	2	34.1	-27°42' 10.2
	5	5	2	50.8	-22 7 10.7
	21	3	3.9	-18 11 11.1	
	6	6	3	14.1	-15 27 11.4
		22	3	21.3	-13 40 11.6

1927b 彗星 これも亦可なり南方に出
 現したものである。しかも尙ほ當時は南
 の方へ動いてゐたものであつたから、發
 見の電報が來ず 國際天文同盟の回報 135
 號が到着して初めて知れた譯である。ケ
 ープからの知らせによる彗星軌道の要素
 は

T 1926 12 月 30.54 U. T.
 ω 224°45'
 Ω 108 42 } 1927.0
 i 83 40
 q 0.7534

さいふ譯で近日點は既に昨年通過して終
 つた筈で、又地球からも段々遠ざかつて
 いつてゐるのである。しかし発見の時に
 は何しろ八等級ださいふから素敵なもの
 である。

1927c ポンウインネク彗星 この彗星が
 本年 6 月 25 日頃にわが地球に最も近づ
 き、しかも地球太陽間の距離の約 20 分の
 一即ち七百萬キロメートル位にまで接近
 するさいふこまはマーフキールド氏が計
 算した軌道要素から推算しうる譯で(本
 會アレチン第 103 號、天文年鑑参照)従つ
 て一般に非常に期待を以て待ち受けられ
 たのであるが、早くも 3 月 3 日ヤーキース
 天文台のバンビースブルク教授が見付け
 も見付けたり光級 16 等さいふのを発見し
 たのである。その位置(1927.0)は観測時
 刻 3 月 8.4302 萬國時對して

赤經=14 12 20.4 赤緯=+25°45'24"

であつた。

カリニツチのクロンメルン氏はこの觀測
 とマーフキールド氏の計算とを照らし合は
 せて次の様な軌道要素を求めてゐる。

T 1927 年 6 月 21.日 1564 U. T

ω 170°22' 50.0''
 Ω 98 10 0.0 } 1927.0
 i 18 57 0.0
 q 43 16 34.3
 $\log \alpha$ 0.519242
 $\log q$ 0.016840
 周期 6.00983 年

それで 6 月 27 日に地球に最近となり、やが
 て六百萬キロメートル位の間近かに接近
 するさいふ譯であるが、まだまだ當分の
 間は大きな口径の望遠鏡でなくては觀測
 は六ヶしいであらう。五月になれば相當
 の望遠鏡ならば容易に認めるこゝが出る
 様になるだらうが、最接近の時と雖も肉
 眼で見える望みはないらしい。前號の挿
 繪に少しく説明を加へるこの彗星の軌
 道は近日點附近で黃道面を北から南へ通
 過してゐる。又地球はこの彗星軌道の内
 側を運行してゐることであるから、彗星
 の近日點附近で兩者の軌道が舷々相摩す
 るさいふこまが知られるであらう。それ
 で上の二つの事實からこの彗星が近日點
 を通過する頃には餘程地球の軌・道・へ近
 づくさいふこまが了解せられるに相違な
 い。ところで本年はその上に地球が丁度
 その問題の地點にゐる頃に彗星が近日點
 へ歸つて來るさいふ三拍子揃つた事實に
 よつて破格的接近さいふこまが起るので
 ある。

1927d 彗星 ポン・ウインネク彗星の
 発見は既に 3 月 3 日であつたのだから、彗
 星の名前はこのウインネク彗星に與へる
 べきもので、従つてステアンスの発見し
 た彗星は 1927d 彗星と名づけるのである。
 尙ほ本誌前號に報ぜられた発見當時の位

置は赤經=15 16 6 赤緯=-7°21' 43''
 である。